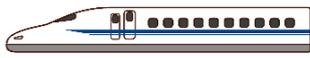


# 加 佐

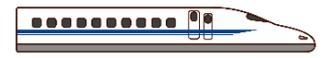
学校だより 6月号  
令和7年6月2日  
舞鶴市立加佐中学校



<https://kasa-maizuru.edumap.jp/>



## 東京から舞鶴・加佐を眺める



今年から修学旅行の行先が東京になりました。広島は「平和学習」をテーマに置きましたが、東京は「都市機能と『働く・住む』」というテーマです。テレビで観ていたような景色が飛び込んでくる訳ですからドキドキワクワクです。古都京都とは違い、建物が「上へ上へ」と造られているので、見上げると首が折れそうでした。都心部では、クルマを持つ方が不便なくらい交通網が発達しています。こちらは「下へ下へ」と地下鉄が作られているので、地図上を平面で見ているとそんなに距離がないはずなのに、階段を上がったたり降りたり・・・まあまあ歩きました。今回はエリアを限定しつつ「班別行動」を取り入れました。事前に「下調べ」はしたものの、やっぱり方角や道順は迷い迷い・・・。こうして大きな街を実際に歩くことは、実は「心のテリトリー」を広げていく作業なんですよね。「旅の経験」には、そうした

「自分を大きくする・自分を広げる」働きがあるように思っていて、これからも全国各地・世界各国に積極的に飛び立って、風習・文化を肌で感じてほしいものです。



一方、2年生の職場体験は「加佐校区内で完成させる」よう地域の事業所様にご協力いただきました。1年生は、学校近くの田んぼをお借りして「米づくり」を始めました。「地域密着型」です。「舞鶴には何も無い。」ではなく、資源や産業をよく知ったうえで、ちょっと離れて「ふるさと」を眺める。さすがに首都東京と舞鶴を比べたら違い過ぎるだろうけれど、アッチもコッチも経験して、「自分のルーツ」に気づいたり「故郷の誇り」を感じ取ったりするプログラムを創りたい。

職場体験の受入にむけて、校区内の事業所・事業主様にご案内・ご相談したときには「『地域の子どもを地域で育てる』モデルを作りたいんです！」なんてカッコつけてお願いしたんですけど、無事にやり終えて、子どもたちの生き生き充実した表情をみると、「学校だけでは到底できなかった色々を、皆さんに協力してもらったんだなあ。」と感謝でいっぱいです。お出会いするなかで、新たなアイデアやヒントをいただきました。引き続きご協力ください。



## いじめ防止対策強化月間

安心安全な学校づくり、こどもの心と身体を守るため、アンケートをとり、担任との懇談期間を設けます。深刻な事案は無くても、未熟な子どもたちが日々暮らしていますので、気持ちがあついたり、すれ違ったり、傷ついたりすることは日常的にあります。絡まった糸をゆっくりほどくように、双方の納得感を確かめながら、大人が解決の道筋を示して支えます。できることなら「自分たちで解決する力」をつけてほしいところ、更にはお互いに傷ついたりあついたりしないようなコミュニケーションスキルを身につけさせたい。スクールカウンセラーと協働で、年間を通じた「コミュニケーション学習」を進めています。お子様から聞かれる学校の様子で心配なことがありましたら学校にお知らせください。

舞鶴市立加佐中学校 校長 阪口靖敬 教職員一同